

東日本大震災復興支援 とどけよう スポーツの力を東北へ！
第34回全国高等学校弓道選抜大会 実施要項

- 1 目的 高等学校教育の一環として、高等学校生徒に広く弓道競技の実践の機会を与え、技能の向上とジュニア層の育成とともに、相互の親睦を図る。
- 2 主催 公益財団法人全日本弓道連盟 ・ 公益財団法人全国高等学校体育連盟
- 3 後援 文部科学省 ・ 栃木県 ・ 栃木県教育委員会 ・ 公益財団法人栃木県体育協会
 宇都宮市 ・ 宇都宮市教育委員会 ・ 宇都宮市体育協会
 栃木県高等学校体育連盟 ・ 公益財団法人日本武道館
- 4 主管 栃木県弓道連盟 ・ 栃木県高等学校体育連盟弓道専門部
- 5 期日 平成27年12月24日(木)・25日(金)・26日(土)
- 6 会場 ブレックスアリーナ宇都宮 (宇都宮市体育館)
 〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉五丁目6番18号
 TEL028-663-1611
 ※JR宇都宮駅東口から徒歩20分
 ※JR宇都宮駅東口4番乗り場 関東バス「平出工業団地」行きに乗車
 「マロニエプラザ前」下車 徒歩3分
- 7 競技種目 近的競技(坐射・的中制・直径36cm 霰的)
- 8 競技種類 団体競技・個人競技
- 9 競技種別 男子の部・女子の部(団体・個人共)
- 10 適用規則 公益財団法人全国高等学校体育連盟「弓道競技規則」ならびに大会要項による。

11 大会日程

期 日	時 間	内 容	会 場
12月24日(木)	10:00	審判会議	会議室 主競技場
	11:00	監督会議	
	13:00	開会式	
	13:30	矢 渡	
	14:00	女子・男子個人予選	
12月25日(金)	9:00	女子団体予選	主競技場
	11:20	男子団体予選	
	13:50	女子・男子個人準決勝	
	15:30	女子・男子個人決勝	
	個人決勝終了後	個人競技表彰式	
12月26日(土)	9:00	女子・男子団体決勝トーナメント	主競技場
	団体決勝終了後	閉会式(団体競技表彰式)	

※上記の時間帯は予定であり、進行状況により変更がある。

12 競技方法

(1) 団体競技

- ①予選 1団体12射(各自4射1回)にて、的中数の上位から順次16団体を決勝進出とする。
- ②決勝 1団体12射(各自4射1回)のトーナメント法で行う。
※決勝トーナメントの組合せは、抽選により決定する。
- ③同中競射 決勝進出決定および決勝トーナメントにおいて同中の場合は、1団体3射(各自1射)にて競射を行う。

(2) 個人競技

- ①予選 各自4射1回を行い、男女とも3中以上の的中者を準決勝進出とする。
- ②準決勝 各自4射1回を行い、男女とも3中以上の的中者を決勝進出とする。
- ③決勝 射詰競射にて順位を決定する。射詰競射の5射目以降は、24cm 星的を使用する。
的中を逸した同位者は、優勝決定以外は遠近競射(36cm 霞的)で順位を決定する。

13 競技における注意事項

(1) 団体競技

- ①選手登録 選手3名・補欠1名・監督1名とし、競技への出場は、参加申込書の登録順とする。
立番(立順)の移動は認めない。
- ②射場区分 予選は3人立×4射場、決勝トーナメントは3人立×2射場で行う。
- ③制限時間 1立7分以内とする。
ア) 行射時間は、進行委員の「始め」の合図で、計時委員が計時を開始する。
イ) 30秒前に予鈴を、制限時間超過を確認して本鈴を鳴らす。
ウ) 弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
エ) 同中競射については、制限時間を設けない。
- ④その他 選手は四つ矢のほか替矢を準備すること。
決勝トーナメントにおける同中競射の1射目は、替矢を使用する。

(2) 個人競技

- ①選手登録 選手1名・監督1名とする。選手の変更は認めない。
- ②射場区分 予選・準決勝・決勝とも3人立×4射場で行う。
- ③制限時間 特に設けないが、「弦音打起し」を原則とする。
- ④その他 選手は四つ矢のほか替矢を準備すること。

(3) その他

- ①競技の服装は、弓道衣(白筒袖・袴・白足袋)とする。
- ②選手・監督の変更および交代については、「大会出場の手引き」に記載する。
- ③予選の立番は、主催者が抽選により決定する。

14 表彰

(1) 団体競技(両種別共通)

- ①上位8校を表彰する。(優勝1校・2位1校・3位2校・5位4校)
- ②優勝校には、優勝杯を贈る。(次回大会で返還)
- ③技能優秀校を表彰する。

(2) 個人競技(両種別共通)

- ①上位8名を表彰する。
- ②技能優秀者を表彰する。

15 参加資格

- (1) 各都道府県弓道連盟(以下「地連」という。)・各都道府県高等学校体育連盟に登録し、地連から選抜された団体および選手とする。(高等専門学校等を含む)
- (2) 平成27年度在籍学年が第1学年・第2学年であること。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) 転校生で、転校後6ヶ月未満の者は、出場できない。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、所属する地連会長の承認を得ればこの限りではない。
- (4) 団体の編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

16 参加制限

- (1) 各都府県は、両種別とも団体競技は1団体、個人競技は2名とする。
- (2) 北海道は、南地区と北地区に分け、両種別とも団体競技は1団体、個人競技は2名とする。
- (3) 開催地は、(1)のほか両種別とも団体競技は1団体、個人競技は2名とする。
- (4) 前年度の優勝校および技能優秀校は、別枠で団体競技に出場ができる。

17 参加申込

(1) 申込方法

①データ(Excelファイル→E-mail)による申込み

全日本弓道連盟 → 地連 → 出場校(必要事項入力) → 地連(参加資格確認)

→ 全日本弓道連盟(データによる申込受付完了)

- ・出場校は、所定の申込書データに必要事項を入力の上、所属する地連事務局にデータを送信すること。
- ・地連事務局は、そのデータを控えとし、取りまとめたデータを下記宛に送信すること。

②紙(郵送)による申込み

出場校(①の申込書データに必要事項を入力後、1枚印刷し公印を押印)

→ 全日本弓道連盟(紙による申込受付完了)

- ・出場校は、所定の申込書データに必要事項を入力し、印刷の上、所属長の認証を受け、下記申込先へ郵送し申し込むこと。

③注意事項

- ・地連を経由し、E-mail送付を行うことで、地連会長の認証とし、会長印の押印は省略する。
- ・①データ(E-mail)申込み、②紙(郵送)申込みの両方を確認後、申込みを完了とする。

- (2) 申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南一丁目1番1号 岸記念体育会館内
公益財団法人 全日本弓道連盟 全国高等学校弓道選抜大会係 宛
TEL 03-3481-2387 FAX 03-3481-2398
E-mail taikaikanri@kyudo.jp

- (3) 申込期限 平成27年11月20日(金)必着(厳守)

18 参加料 無料

19 宿 泊 業者より都道府県高等学校体育連盟弓道専門部宛に連絡する。

取扱業者 株式会社JTB関東 法人営業宇都宮支店
〒320-0801 栃木県宇都宮市池上町4番1号
TEL 028-614-2250 FAX 028-614-2005
担当者 八島・吉田・今井

20 注意事項

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急手当は主催者側で行うが、その他の責任は負わない。
- (2) 引率者は、学校長の認める当該校の教職員とする。
- (3) 監督は、学校長の認める指導者であること。監督が外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入していることを条件とする。
- (4) 開会式・閉会式の服装は、弓道衣(白筒袖・袴・白足袋)もしくは制服とする。
- (5) 公式練習(12月23日(水))の時程・会場・受付方法などについては、「大会出場の手引き」に記載する。
- (6) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入する。
- (7) 参加者は、健康保険証を持参のこと。
- (8) 参加者は、スポーツ安全保険に加入することが望ましい。
- (9) 参加者は、「大会出場の手引き」を周知すること。

21 参加申込書に記載される個人情報の利用目的について

参加申込書の提出により、以降の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。

なお、下記(2)について不同意の場合は、その旨を主催者へ申し出る事。

- (1) 大会プログラムならびに事務連絡文書への記載。(学校名、個人名、学年、段位、写真)
- (2) 大会結果報告として、関係団体宛文書および月刊『弓道』・『高校弓道マガジン』・主催者ホームページへの記載。(学校名、個人名、学年、段位、写真)
- (3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。関係各法令を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

以上